

2022年 3月25日
京成電鉄株式会社

さらなる安全・安心な列車運行を目指して スカイライナーに警備員が乗車します —あわせて特急料金を改定します— 2022年4月25日(月)～

京成電鉄(本社:千葉県市川市、社長:小林 敏也)では、2022年4月25日(月)より、スカイライナーをはじめとした有料特急の全列車に警備員が乗車します。

車内でのトラブル等の未然防止ならびに発生時の対応力強化により、お客様にこれまで以上に安全かつ安心してご利用いただけます。なお、これに伴い、特急料金を改定します。

京成電鉄では、かねてよりお客様に安全・安心してご利用いただけるよう、駅構内・列車内において、警察と連携した巡回強化や、防犯カメラの増設を進めるとともに、防犯対策・対応力強化を目的とした各種訓練を実施しております。

今後も、お客様の安全・安心を第一に事業運営を行ってまいります。

本件の概要は、次頁の通りです。

安全・安心な列車運行へ

スカイライナー・モーニングライナー・イブニングライナーの全列車^{※1}に警備員が乗車します。

2022年4月25日(月)より

警備強化に伴う特急料金の改定について^{※2}

スカイライナー 特急料金	京成上野 日暮里	⇄ 成田空港 北千住駅止	1,250円(630円) ▶ 1,300円(650円)
	南 千住	⇄ 成田空港 北千住駅止	1,000円(500円) ▶ 1,050円(530円)
モーニングライナー・イブニングライナー・特急料金			420円(210円) ▶ 450円(230円)

※1 朝陽ライナー・シヤウライナーも該当する。

※2 210円は片道料金です。ご乗車には片道に別乗券が必要な場合があります。スカイライナーにのみ片道特急料金が設定されています。朝陽ライナーにのみ片道特急料金が設定されています。シヤウライナーには片道特急料金が設定されていません。京成電鉄グループのロゴマークは、京成電鉄の登録商標です。

京成電鉄

有料特急全列車への警備員乗車・特急料金改定について

1. 実施時期

2022年4月25日(月)より通年

2. 警備の対象列車

有料特急全列車

3. 特急料金改定額について ※()内は小児料金です。

(1) 定期列車

列車名・区間	現行	改定後
スカイライナー 京成上野・日暮里～空港第2ビル・成田空港	1,250円 (630円)	1,300円 (650円)
スカイライナー 青砥～空港第2ビル・成田空港	1,000円 (500円)	1,050円 (530円)
モーニングライナー・イブニングライナー 全区間	420円 (210円)	450円 (230円)

※スカイライナーに係る各種企画乗車券についても改定します。(別紙参照)

(2) 臨時列車

列車名・区間	現行	改定後
シティライナー 京成上野・日暮里・青砥～京成成田	970円 (490円)	1,000円 (500円)
シティライナー 京成上野・日暮里～青砥 京成上野・日暮里・青砥～京成船橋 京成船橋～京成成田	520円 (260円)	550円 (280円)

※印旛日本医大始発の「臨時ライナー」については、料金の改定はありません。

以上

【別紙】スカイライナー企画乗車券の改定について ※()内は小児料金です。

券種名		現行	改定後
スカイライナーバリューチケット		2,250円 (1,120円)	2,300円 (1,150円)
スカイライナーバリューチケット・プレミアム			
京成電鉄×IYOTETSUコラボ企画 (松山エリア→首都圏エリアご利用のお客様向け)			
京成×南海 特得チケット		1,410円	1,460円
手ぶらでライナー(空港宅配&スカイライナー)		4,300円	4,350円
Keisei Skyliner & Tokyo Subway Ticket	片道・24H	2,840円 (1,420円)	2,890円 (1,450円)
	片道・48H	3,240円 (1,620円)	3,290円 (1,650円)
	片道・72H	3,540円 (1,770円)	3,590円 (1,800円)
	往復・24H	4,780円 (2,390円)	4,880円 (2,440円)
	往復・48H	5,180円 (2,590円)	5,280円 (2,640円)
	往復・72H	5,480円 (2,740円)	5,580円 (2,790円)

※「手ぶらでライナー」の料金は南東北・関東・甲信越・東海・北陸地域への空港宅配の場合です。